

患者さまの地域移行促進のために当院が取り組んでいること

精神疾患のために精神科病院に入院される患者さまの一部の方は、入院時に予想された入院期間を超えた長期入院になることがあります。特に1年以上の長期入院については、厚生労働省が対策を検討しているところです。（「長期入院精神障害者の地域移行に向けた具体的方策の今後の方向性」でウェブ検索できます）

長期の入院になると、患者さまやご家族は退院することが不安になってしまうことがあります。当院では入院の長期化を防ぐために以下のような取り組みを行っております。

- 地域の支援者と連絡会等を行い、病院スタッフが地域移行についての理解を深めると共に、患者さまが地域で生活されるために必要な支援のイメージを共有します。
- 患者さまが地域の支援者やピアサポーター等と話す機会を設け、実際に退院後どのように生活されるのかイメージできるようにします。
- 退院後の生活について、患者さまやご家族が不安に思われることについて、各種福祉サービスや訪問サービス等を利用し、安心して生活できるようにお手伝いします。

これらの取り組みを有効なものとするためには、患者さまご自身やご家族のご協力がきわめて重要で、必要不可欠となります。

そのために、ご協力いただきたいのは以下の3つです。

- 1 当院は、長期入院がゼロになることを目指しています。
- 2 当院は、症状があっても、患者さまが地域で生活できるように支援します。
- 3 長期の入院を希望される場合は、転院調整させていただきます。

みなさまの、ご理解とご協力をお願いいたします。

兵庫県立ひょうごこころの医療センター
院長 田中 究